

平成 28 年度（2016 年度）事業報告

本財団で行う研修及び研究

本財団は、医師等に対する精神分析及精神分析療法に関する研修事業として、通年セミナー12件うちワークショップ1件、単発セミナー11件うち海外講師によるセミナー6件、出版・広報事業1件を実施した。

I. 研修事業

1. 通年セミナー

(1) 小寺精神分析研究セミナー（第22期）

テーマ：「精神科臨床・心理臨床から精神分析的臨床へ」

概略：日本で精神分析・精神分析的セラピーを受ける患者/クライアントのほとんどが、精神科臨床と心理臨床からやってきます。そして、精神分析・精神分析的セラピーを行うセラピストも、精神科医臨床と心理臨床からやってきます。隣接するこのふたつの領域から精神分析的臨床は大きな恩恵を受けていることとなります。そのことは、この二つと精神分析的臨床のあいだの違い、ギャップ、垣根を越えて、患者/クライアントも、そしてセラピスト、精神分析的臨床のなかに入ってくることを意味します。そのギャップは双方にとってどのようなものとして体験されるのでしょうか。それがどのように通過され越えられることが、よいことをもたらすのでしょうか。

私たちの臨床的実践にとって、きわめて切実なこのテーマを一年語り合いました。

対象：精神分析の指導者および臨床家の養成のため、精神分析セミナー、精神分析的臨床セミナー、対象関係論勉強会の受講生、卒業生及びこの基準に準じた臨床家の方。

開催期間：平成28年(2016年)5月～平成29年(2017年)3月、月1回

第3土曜日原則、午後6時30分～9時、全10回

開催場所：TKP市ヶ谷カンファレンスセンター

参加人数：81名

運営方法：毎回講師1名指定討論者1～2名をお願いし司会は藤山直樹が担当（5月のみ相田信男）

企画及び担当：藤山直樹

日時	講師	テーマ	討論者
5月21日	藤山直樹	精神分析と精神科臨床・心理臨床：そのギャップを考える	相田信男 生地 新
6月18日	北山 修	覆いをとること・つくること	皆川英明
7月16日	妙木浩之	心理面接から自由連想法へ：問うことの意義	岩倉 拓
9月17日	衣笠隆幸	精神分析的臨床医学の臨床	権 成鉉
10月15日	鈴木智美	症状形成にあずかるころへのアプローチ	奥寺 崇
11月19日	松木邦裕	精神分析は癒すのか、治すのか、解決するのか	高野 晶
12月17日	中村留貴子	心理臨床の実際と精神分析的臨床	脇谷順子
1月21日	菊地孝則	精神医療から精神分析的臨床へ	池田政俊
2月18日	福本 修	精神科臨床・心理臨床における精神分析的臨床とは	白波瀬丈一郎
3月18日	岡野憲一郎	精神分析への期待	岡田暁宜

(2) 体験グループセミナー (第 22 期)

目的：精神分析、力動的精神療法の方向付けを基本とした、グループダイナミックスの学習、自己理解の深化をワークショップ形式のグループ体験を通して得る機会の提供を目的としました。

対象：精神分析セミナー、精神分析的心理臨床セミナーならびにそれに相当するセミナーの受講者、修了者ですでに精神療法の経験をもつ方を優先する。
基本を2年コースと考えているので原則として2年目の参加者を優先。

講師：鈴木純一・相田信男

開催期間：平成 28 年(2016 年)5 月～平成 29 年(2017 年)3 月、月 1 回
第 4 金曜日原則、午後 7 時～8 時 30 分、全 10 回

場所：小寺記念精神分析研究財団セミナールーム

参加人数：21 名

企画者：相田信男

担当委員：相田信男

(3) グループ理論研究セミナー (第 21 期)

目的：精神分析、力動的医学を基礎におく集団精神療法の臨床または指導者の養成を、理論的学習、とりわけ事例をめぐるスーパービジョンを通して達成することを目的としました。

対象：何らかの臨床グループあるいはトレーニング・グループなど、実際グループに参加した経験のある方で、ことに事例提供が可能な方を原則とする。

講師：鈴木純一・相田信男

開催期間：平成 28 年(2016 年)5 月～平成 29 年(2017 年)3 月、月 1 回
第 2 土曜日、午後 2 時～5 時 全 10 回

開催場所：小寺記念精神分析研究財団セミナールーム

参加人数：41 名

企画者：相田信男

担当委員：相田信男

(4) 力動的家族療法セミナー (第 14 期)

目的：力動的な家族療法を中心とした家族面接と評価の方法、ジェノグラム書き方、介入技法など。

対象：個人精神療法に関する何らかの研修（セミナーあるいはスーパービジョンなど）を受けているか、受けたことのある方。大学院生も受講可。

講師：中村伸一・渡辺俊之・野末武義・岩井昌也

開催期間：平成 28 年(2016 年)6 月～平成 29 年(2017 年)3 月、月 1 回
2016 年度は原則第 4 土曜日、午後 2 時～5 時 全 10 回

開催場所：小寺記念精神分析研究財団セミナールーム

参加人数：11 名

企画者：中村伸一

担当委員：中村伸一

(5) 小寺臨床講読セミナー

—現代クライン派の系統的理解 (第Ⅲ期) : 4. 精神分析の展開過程—

目的 : 系統的に論文講読に取り組む演習形式のセミナーの4年目です。本年度は、治療者側の準備すなわち乳児観察から、精神分析的アセスメント、精神分析過程とそこで生じるさまざまな問題について、主にクライン派の諸論文を読み進めました。

邦訳のある文献も含めて、初学者の方でも参加しやすいようにしました。経験ある方が再度勉強する機会にもなります。本年度からの参加も可能です。

対象 : テキストを読んで毎回参加できる方。年に何回かレジュメ作成・発表を担当。

講師 : 福本 修・平井正三

開催期間 : 平成28年(2016年)4月以降の第2金曜、原則として午後7時~10、全12回

開催場所 : 小寺記念精神分析研究財団セミナールーム

参加人数 : 19名

企画者 : 福本 修

担当委員 : 福本 修

(6) 小寺臨床講読ワークショップ

—フロイトの系統的理解 (第Ⅳ期) 2. : 精神分析の完成期 (1910-1920) —

目的 : 本ワークショップは、参加時間の中でフロイト読解を体験して、精神分析の〈現場〉へと赴くことを目指します。2016年度は、完成期に入ったフロイトによるナルシシズム・精神病への新たな取り組みと、技法論文およびメタ心理学論文に含まれている興味深い概念を取り上げると同時に、臨場感ある現代論文を参照しました。フロイトの著作は今も基本であり発想の源泉ですが、読み進めるのは、容易ではありません。精神分析が理論的にも臨床的にも整備された1910年代の著作は、創成期に比べれば取っ付きやすくて、対象関係論や現代の精神分析とはまだ距離があります。グループで読み進めることによって、理解は深まり、初学者の方も経験ある方も、新鮮なフロイトに触れることができるでしょう。3年間で全体をカバーする予定です。

対象 : テキストを読んで毎回参加できる方。臨床経験の多寡は問いません。

講師 : 福本 修 (余裕があれば時にゲスト講師)

開催期間 : 平成28年(2016年)4月以降の第三金曜、午後7時~10時、全12回

開催場所 : 小寺記念精神分析研究財団セミナールーム

参加人数 : 27名

企画者 : 福本 修

担当委員 : 福本 修

(7) 精神分析的心理療法セミナー (第8回)

目的 : 精神分析的な心理療法についての事例検討と研究を目的とします。原則として、ある程度の臨床経験と、個人スーパービジョンを中心とする研修経験をすでに持っており、事例報告ができる臨床心理士を対象とします。精神分析学会認定資格の取得を目指すことが望ましく、また、年に数回、外部からの講師もお迎えして助言をお願いしました。事例をめぐる活発な討論を行うので、積極的に意見を述べる、経験豊かな臨床心理士の参加を歓迎します。

対 象：精神分析の基礎講義を修了し、個人スーパービジョンの経験を持つ臨床心理士
講 師：中村留貴子、他

開催期間：平成 28 年（2016 年）4 月～平成 29 年（2017 年）3 月
原則として、第一金曜日、午後 7 時 30 分～10 時、全 10 回
日曜日などに特別セッションを設けることもある。

開催場所：小寺記念精神分析研究財団セミナールーム及び小会議室

参加人数：9 名

企 画 者：中村留貴子

担当委員：岡野憲一郎

（8）臨床家のための、産業メンタルヘルス実践セミナー（第 4 期）

目 的：産業メンタルヘルスに関わる専門家への、社会の要請はいや増すばかりです。当財団ではこうした要請に応えるべく、産業メンタルヘルスに関わる専門家の養成に寄与することを目的に 2012 年度から「臨床家のための、産業メンタルヘルス・セミナー」を開講し、2014 年でまで継続してまいりました。この 3 年間の経験を踏まえて、2016 年度は、その内容を実践能力の向上をより重視したものに改めると共に、対象者を臨床心理士の他に、産業保健あるいは精神医学に関わる臨床家に拡げて「臨床家のための、産業メンタルヘルス実践セミナー」として開講いたしました。

対 象：臨床心理士他、産業メンタルヘルス領域で活動する臨床家
講 師：白波瀬丈一郎・佐渡充洋・辻廣享子・小林靖・榊谷哲平・松山公一・三浦有紀

開催期間：平成 28 年（2016 年）5 月～平成 29 年（2017 年）3 月まで月 1 回、全 10 回
5 月～9 月第 4 日曜日、10 月～3 月第 2 日曜日 8 月休み 13：00～17：30

開催場所：小寺記念精神分析研究財団セミナールーム

参加人数：8 名

企 画 者：白波瀬丈一郎

担当委員：白波瀬丈一郎

（9）精神分析志塾（第 1 回）

目 的：中堅臨床家の方たちが上級者に進展されるための協働を意図して、本志塾を開講いたしました。精神分析や精神分析的精神療法/心理療法での臨床力の向上には、分析的臨床経験から濃い学びをなし遂げることが必要です。そのための強固な骨格を固める濃密なワークショップを限られたメンバーで展開しました。

対 象：中堅臨床家

講 師：松木邦裕

開催期間：平成 28 年（2016 年）4 月～平成 29 年（2017 年）3 月まで月 1 回、1 月はお休み
全 11 回 10：30～15：50

開催場所：小寺記念精神分析研究財団セミナールーム、SC ビル 2 階会議室（11 月のみ）

参加人数：15 名

企 画 者：松木邦裕

担当委員：奥寺 崇

(10) 「子どもの心の発達を学ぶ—基本および現代的視点—」(第1回)

2016年度テーマ： 精神分析的観点からみる乳児期から思春期までの心の発達

目 的：年間3回のセミナーで、子どもの心の発達について、主に精神分析的な視点から学ぶことを目的とします。前半の講義と後半の臨床実践の素材の検討を通して、精神分析的な考え方の基本を学ぶこと、そして、精神分析的な考え方についての理解を深めていくことを目指しました。また、子どもとの仕事において精神分析理論がどのように活かされ得るかについて、その可能性についても考えていきました。

対 象：子どもとの臨床に取り組み始めた方たち、改めて基本から精神分析的なアプローチを学びたい中堅の方たち、現代の精神分析的な考え方に基づく臨床に関心をお持ちの方たち。

講 師：木部則雄・福本修・脇谷順子

開催日時：平成28年(2016年)4月29日(祝・金)、10月10日(祝・月)

平成29年(2017年)2月11日(祝・土)

13:00~17:00

開催場所：TKP市ヶ谷カンファレンスセンター9階9B

参加人数：63名

企画者：脇谷順子

担当委員：脇谷順子

(11) 乳幼児観察セミナー(第1回)

目 的：本セミナーの前半では、乳幼児観察を英国で経験した講師が乳幼児観察に関する講義を行ってもらい、後半には2年間の乳幼児観察を終了した人から生き生きとした乳幼児観察の体験を語ってもらいました。

対 象：乳幼児観察の終了者、乳幼児観察に関心を持つ人であれば、職種は問いません。

講 師：木部則雄・鈴木龍・脇谷順子

開催日時：平成28年(2016年)9月19日(祝・月)、平成29年(2017)3月20日(祝・月)

13:00~17:00

開催場所：小寺記念精神分析研究財団セミナールーム

参加人数：30名

企画者：木部則雄

担当委員：木部則雄

(12) 自我心理学臨床セミナー(第1回)

目 的：小此木啓吾をはじめ、精神分析の初期の先達に影響を及ぼした自我心理学の基本について再検討するためのセミナーです。アンナ・フロイトから現代の自我心理学者ポール・グレイやフレッド・ブッシュ、あるいはフォナギーらの仕事までの流れを確認するために、隔回自我心理学の代表的な論文をひとつずつ読み、その後にその治療者の業績を解説して、やはり隔回にシニア、あるいはマスタークラスの臨床家とディスカッションをし、それぞれの自我心理学的な精神分析の考え方を確認していきました。

対 象：自我心理学に興味があり、臨床を行っている方(経験の多寡は問いません)

講 師：乾 吉佑・中村留貴子・深津千賀子

司会・進行:妙木浩之

開催日時:平成28年(2016年)9月以降の第4日曜日 午前10時~12時 全7回

開催場所:小寺記念精神分析研究財団セミナールーム

参加人数:22名

企画者:妙木浩之

担当委員:岡野憲一郎

2. 単発セミナー

(1) 精神分析—医学生・研修医セミナー(第9回)

目的:医学生を中心に、精神分析の世界を概観する機会を提供し、その魅力を伝え、さらに精神的臨床家との交流を通して、精神分析の世界への関心を高めることを目的とした。

開催日時:平成28年(2016年)7月17日(日)・18日(月・祝)

開催場所:小寺記念精神分析研究財団 セミナールーム

講師:菊地孝則・北山修・白波瀬丈一郎・高野 晶・藤山直樹

対象:医学生、および研修医

参加人数:14名

内容:レクチャーおよび分析家オフィス見学ツアー

企画者:菊地孝則・高野 晶

担当委員:菊地孝則

(2) 関係性精神療法セミナー(第6回)

目的:関係性精神療法について、毎年テーマを変えて講義し今年度は『逆転移』

対象:精神分析に興味があり、臨床実践を行っている方

開催日時:平成28年(2016年)7月24日(日) 午前10時~午後3時

開催場所:TKP市ヶ谷カンファレンスセンター3階 カンファレンスルーム3A

対象:精神分析に興味があり、臨床実践を行っている方

発表者:富樫 公一、吾妻 壮、岡野憲一郎

司会:岡野憲一郎

参加人数:29名

企画者:岡野憲一郎

担当委員:岡野憲一郎

(3) 『タヴィストックセミナー』(第7回)

タヴィストック・クリニックの原点と発展:マーサ・ハリス with 山上千鶴子

「連想を紡ぐ・心的事象の本質を別る」

目的:今回は、山上千鶴子先生ご自身の留学経験を踏まえて、日本ではまだ十分に知られていない故 Mrs.マーサ・ハリスを「タヴィストックの伝統の礎(いしずえ)」として振り返り、お話しいただきました。

開催日時:平成28年(2016年)12月23日(祝・金) 午後1時~5時

開催場所:TKP市ヶ谷カンファレンスセンター

対象:精神分析に興味があり、臨床実践を行っている方(臨床経験の多寡は問いません)

講 師：山上千鶴子
司 会：木部則雄・福本 修
討 論：小倉 清・平井正三
参加人数：67名
企 画 者：福本 修
担当委員：福本 修

(4) 学際的ワークショップ「知のリンクに向けて」—第1回「倒錯概念のいま」(第1回)

目 的：日本では長きにわたって、人文系の知的なポピュレーションと臨床的な精神分析、とりわけ英米系の流れとのあいだの対話が途絶してきた印象があります。それは双方にとって、不幸な事態であると考えられます。その対話を生み出すために連続的なセミナーを企画し、そのコーディネーターとして、人文系の読者、聴衆との対話を続けながら精神分析実践を営み、フランスで訓練を受けながら英米系の精神分析の流れにも影響を受けて来られた、十川幸司先生をお迎えし、一連のセミナーを企画・実施します。
第一回の今年は倒錯という古典的な概念を取り上げ、学際的対話を試みることにした。

開催日時：平成28年(2016年)9月19日(祝・月) 13:00~17:00

開催場所：小寺記念精神分析研究財団セミナールーム

参加対象：人間のこころ、精神分析に関心をもつ方はどなたでも参加できます。

コーディネーター：十川幸司(十川精神分析オフィス)

発 表 者：十川幸司・佐藤淳二(北海道大学大学院文学研究科) 妙木浩之(東京国際大学)

討 論：藤山直樹・立木康介(京都大学人文科学研究所)

司 会：藤山直樹・十川幸司

参加人数：68名

企 画 者：藤山直樹

担当委員：十川幸司・藤山直樹

(5) 心理臨床家のための力動的精神病理学入門1(第1回)

精神障害の診断と査定のための基礎知識：「うつ」を考える

開催日時：平成29年(2017年)3月20日(祝・月) 午前10時~17時

開催場所：TKP市ヶ谷カンファレンスセンター

参加対象：臨床心理士・精神科医

講 師：白波瀬丈一郎・渡邊衡一郎・吉村 聡
妙木浩之・加茂聡子

参加人数：52名

企 画 者：妙木浩之

担当委員：妙木浩之

(6) 海外講師によるセミナー

①Jean-Michel Quinodoz 先生講演 —精神分析過程における分離不安—

開催日時：平成28年5月14日(土) 午後7時~午後9時

開催場所：小寺記念精神分析研究財団セミナールーム

参加対象：精神分析に関心があり、臨床実践を行っている方（経験の多寡は問いません）

講師：**Jean-Michel Quinodoz**

指定討論：皆川英明

司会：福本修

参加人数：36名

参加対象：精神分析に関心があり、臨床実践を行っている方（臨床経験の多寡は問いません）

企画者：福本修

担当委員：福本修・木部則雄・奥寺崇

②日韓精神分析会議

開催日時：平成28年（2016年）6月12日（日）

開催場所：小寺記念精神分析研究財団セミナールーム

発表者：皆川英明

Wang-ku Rho

司会：古賀靖彦

Do-Un JEONG

参加人数：25名

参加対象：精神分析に関心があり、臨床実践を行っている方、日本精神分析協会
日本精神分析学会に属する方

企画者：北山修

担当委員：福本修

共催：日本精神分析協会東京支部

③Jan Abram 先生による症例検討及び講演

開催日時：平成28年（2016年）9月18日（日）—症例検討・19日（祝・月）—講演

開催場所：小寺記念精神分析研究財団セミナールーム

講師：**Jan Abram**

症例発表：加茂聡子

司会/通訳：福本修・奥寺崇

参加人数：26名（18日）、26名（19日）

参加対象：精神分析に関心があり、臨床実践を行っている方（臨床経験の多寡は問いません）

企画者：福本修

担当委員：奥寺崇・福本修

共催：日本精神分析協会東京支部

④Clara Nemas 先生講演会

潜在空間の器（コンテナ）としての想像

Imagination as container of potential spaces

開催日時：平成28年10月30日（日）午後1時～午後4時

開催場所：小寺記念精神分析研究財団セミナールーム

講師：**Clara Nemas**

指定討論：脇谷順子

司 会：北山修

通 訳：福本修

参加人数：24名

参加対象：精神分析に関心があり、臨床実践を行っている方（臨床経験の多寡は問いません）

共 催：日本精神分析協会東京支部

企 画 者：北山修

担当委員：福本修

共 催：日本精神分析協会東京支部

⑤Martha Papadakis 先生との臨床セミナー

開催日時：平成 28 年（2016 年）11 月 12 日（土）午後 6 時 30 分～午後 9 時

開催場所：小寺記念精神分析研究財団セミナールーム

講 師：Martha Papadakis 先生

症例発表：浅野美穂子

司 会：福本 修

通 訳：松本ちひろ

参加人数：24名

参加資格：精神分析に関心があり、臨床実践を行っていて、守秘義務を守れる方

企 画 者：福本 修

担当委員：木部則雄・福本修

共 催：日本精神分析協会東京支部

⑥Ronald Britton 先生の講演と臨床セミナー

心のモデルとしての神話—エディプスへの視座

開催日時：平成 28 年（2016 年）11 月 13 日（日）午後 1 時～午後 5 時 30 分

開催場所：TKP 市ヶ谷カンファレンスセンター

講 師：Ronald Britton 先生

指定討論：平井正三

司 会：福本修

通 訳：松本ちひろ

参加人数：58名

参加資格：精神分析に関心があり、臨床実践を行っている方（臨床経験の多寡は問いません）

企 画 者：福本 修

担当委員：木部則雄・福本修

共 催：日本精神分析協会

Ⅲ出版・広報事業

ホームページの更新と広報の手段を工夫することを検討した。

担 当：福本 修